

2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 25 日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	出口 弘
研究課題	代数的実物簿記を用いたトランザクションデータの記録・計算・サービス利活用の研究				
研究キーワード	交換代数、実物簿記、電子インボイス、組織間監査	当年度計画に対する達成度	1.目標を超える研究の進展・成果を達成した		
関連するSDGs項目	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>従来簿記で用いられていた複式の状態記述を一般化した代数的実物簿記により、主体の活動時点(Point of Event)での状態変化を実物単位での複式状態記述により把握し、それを必要とされるマネジメント範囲で集約することで、工場の生産現場などの組織内部から、組織単位、サプライチェーンや組織間連携単位、さらに国のレベルでの様々なマネジメントに利活用するための複式状態によるシステム記述とその情報処理の基本アーキテクチャについての全体枠組みを統合的人与えることができた。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>査読付き国際学会論文</p> <p>Itsuo Sakuma (Senshu University), Hiroshi Deguchi (Chiba University of Commerce), Akira Omori (Yokohama National University)</p> <p>Alternative Approaches to the Axiomatisation of National Accounting: As a Tribute to the Two Great Norwegian Figures in the World of National Accounting, IARIW 2021</p> <p>Paper prepared for the 36th IARIW Virtual General Conference August 23-27, 2021</p> <p>Session 23: National Accounts</p> <p>Time: Thursday, August 26, 2021 [16:30-18:30 CEST]</p> <p>https://iariw.org/wp-content/uploads/2021/08/SakumaDeguchiOmori_Paper.pdf</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>【学会発表等】</p> <p>国内学会発表</p> <p>○出口弘（千葉商科大学）</p> <p>交換代数を用いた実物複式状態に基づくシステム記述とその利活用—活動時点複式データ把握と情報処理の基本アーキテクチャー，第 27 回社会システム部会研究会（2022 年 3 月 6～8 日）</p> <p>https://easychair.org/smart-program/SocSys027/</p> <p>https://easychair.org/smart-program/SocSys027/2022-03-07.html#talk:188767</p> <p>3. 主な経費</p> <p>関連書籍の購入や文具代に使用した</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p>					

(本文は2ページ以内にまとめること)